

# システム変更等のお知らせ

(2005. 1. 12-2005. 3. 4 変更)

システム運用係

1 ハードウェア … なし

2 ソフトウェア … なし

2.1 H I - U X / M P P ; mpp-s, mpp-p, mpp-bt … なし

2.2 V O S 3 / F S ; m-vos … なし

2.3 H I - O S F / 1 - M J ; m-unix … なし

2.4 H I - U X / M P P ; batch … なし

3 その他

3.1 システムの変更及び利用負担金の改正について

前号までにお知らせしておりますとおり 2005 年 3 月にベクトル並列型スーパーコンピュータを SR8000/128 から SR11000/J1 に更新します。これに伴い、計算機リソース、利用負担金額が変更となります。サービス形態の詳細については本誌別記事「SR11000/J1 試験運用及びサービス内容の変更について」を御覧下さい。新利用負担金については以下のとおりです。なお、各表に示している金額は利用開始月を 4 月とした時の金額（総額表示）です。

## パーソナルコース

### ・基本セット

区分	利用負担金 年額	SR8000/MPP		SR11000/J1	
		並列実行 ノード数	拡張記憶 (ES) ジョブ	実行可能ジョブ	拡張記憶 (ES) ジョブ
コース 1	19,800 円	1 ノードまで	実行不可	スカラージョブ のみ (要素並列不可)	実行不可
コース 2	39,700 円	2 ノードまで	実行可		
	52,900 円 79,400 円	4 ノードまで 8 ノードまで			
コース 3	132,300 円	制限なし <sup>1)</sup>	実行可		

<sup>1)</sup>128 ノードジョブ実行可。

区分	ディスク量 (上限値) <sup>1)</sup>			
	/home	/short/mpp-bt	/batch	/short/batch
コース 1	1GB	0GB	10GB	10GB
コース 2	1GB	1GB		
コース 3	2GB	2GB		

<sup>1)</sup>オプションにて追加可。

・追加オプション

区分	利用負担金 年額	SR11000/J1	
		並列実行 ノード数	拡張記憶 (ES) ジョブ
SR11000 オプション <sup>1)</sup>	52,900 円	1 ノードまで	実行可
	79,400 円	2 ノードまで	
	132,300 円	4 ノードまで	

<sup>1)</sup>SR11000 オプションはコース 2,3 に追加可。但し、コース 2 は 1 ノードまで。

ディスク量	/home	10,500 円/GB
	/short/mpp-bt	5,250 円/GB
	/batch	100GB まで 2,100 円/GB、100GB を超えた分から 1,050 円/GB
	/short/batch	100GB まで 1,050 円/GB、100GB を超えた分から 525 円/GB
プリンター出力	1 オプションにつき 3,150 円 (但し、標準で 3,150 円分まで出力可)	
	単価	レーザー式プリンター (連続紙、カット紙) 3 円/頁
		超高画質カラープリンター (用紙) 105 円/頁
		〃 (OHP) 157 円/頁

パーソナルコースの主な変更点

1. SR8000/MPP でバッチジョブが実行できます。

これまで御利用頂いていた SR8000/128 と比べ、性能、主記憶容量が向上するため、より規模の大きい計算が可能となります。コース 3 では毎月 1 回、第一金曜日夕方から翌週月曜日 (休日の場合は火曜日) 朝の間に実施する超並列 (128 ノード) ジョブ実行サービスを利用できます。なお、SR8000/MPP の拡張記憶 (ES) を使用する場合はコース 2 又は 3 を選択して下さい。

超並列ジョブ (128 ノード) 実行サービスについては 3.2 を参照して下さい。

2. SR11000/J1 のバッチジョブが実行できます。

新スーパーコンピューター SR11000/J1 が利用できます。コース 2 又は 3 を選択の上、「SR11000 オプション」を追加することで SR11000/J1 の要素並列ジョブ及び拡張記憶 (ES) ジョブを実行することができます。このオプションには並列実行ノード数の異なる 3 種類を用意しており、コース 3 の場合 1、2、4 ノードから選択可能で、コース 2 でも 1 ノードを設定できます。(当面は 1 ノード 8CPU でサービスします)。なお、オプションを設定しない場合でもスカラージョブを実行することができます。

※ 2005 年度 5 月末まで (予定) は SR11000/J1 の試験運用を行います。そのため、この期間はオプションをつけなくても要素並列ジョブ及び拡張記憶 (ES) ジョブを試験的に実行できます。(但し、利用状況によっては実行を制限する場合があります。)

3. /home、/short/mpp-bt の初期値が増えます。

/home（長期）、/short/mpp-bt（短期）は SR8000/MPP に接続されたディスクで、これまで御利用頂いていた長期保存ファイル/home を継続して利用できます。今回、コース 1、2 の /home の初期値を 512MB から 1GB に増やし、コース 2 ではこれまで割り当てのなかった /short/mpp-bt を標準で 1GB 割り当てます。

4. /batch、/short/batch が大容量になります。

/batch（長期）と/short/batch（短期）は SR11000/J1 に接続されたディスクでこれまでとは桁違いの大きな容量を割り当てることができます。今回全てのコースでそれぞれ 10GB を標準で割り当てます。

## グループコース

### ・基本セット

利用負担金 年額	利用登録 番号数 <sup>1)</sup>	SR8000/MPP			SR11000/J1	
		専用キュー	並列実行 ノード数	拡張記憶 (ES) ジョブ	並列実行 ノード数	拡張記憶 (ES) ジョブ
1,190,700 円	10 個まで	1 ノードまで	制限なし <sup>2)</sup>	実行可	4 ノードまで	実行可

<sup>1)</sup>オプションにて追加可。

<sup>2)</sup>128 ノードジョブ実行可。

ディスク量（上限値） <sup>1)</sup>	
/home	20GB
/short/mpp-bt	20GB
/batch	100GB
/short/batch	100GB

<sup>1)</sup>オプションにて追加可。

### ・追加オプション

利用登録番号	25,200 円/個	
ディスク量	/home	100,800 円/10GB
	/short/mpp-bt	50,400 円/10GB
	/batch	10,500 円/10GB
	/short/batch	5,250 円/10GB

## グループコースの主な変更点

1. SR11000/J1 と SR8000/MPP の両方でバッチジョブが実行できます。

SR11000/J1 でスカラージョブ、拡張記憶（ES）ジョブ、4 ノードまでの要素並列ジョブが実行できます。SR8000/MPP もこれまでどおり利用でき、専用キュー及び超並列（128 ノード）ジョブ実行サービスも同様に利用できます。

超並列ジョブ（128 ノード）実行サービスについては **3.2** を参照して下さい。

2. /batch、/short/batch が大容量になります。

パーソナルコース同様、/batch、/short/batch ディスクの大容量化により、基本セットでそれぞれ 100GB を割り当てます。

### 3.2 SR8000/MPP 超並列ジョブ (128 ノード) 実行サービスについて

これまで毎月第 1 金曜日夕方から翌週月曜日 (休日の場合火曜日) 朝までの期間でサービスしている超並列ジョブ実行サービスは、2005 年度も同様にサービスを行います。それにあたり、超並列ジョブ実行サービス期間中にはシステム構成が変更となり、SR8000/MPP での一部のサービスが休止となりますので御了承下さい。また、サービス開始と終了の前後約 1 時間はシステムの切替作業を行いますので併せて御了承下さい。なお、P128 キューの利用はグループコース及びパーソナルコース 3 を設定している利用者を対象とします。

#### 利用可能なサービス

インタラクティブ処理用サブシステム	mpp-s. cc. u-tokyo. ac. jp
スカラージョブクラス	A~F
並列ジョブクラス	P001~P004、P128

※ SR11000/J1 の各ジョブクラス (A~F、A-ES~F-ES、P001~P004) は利用可能です。

#### 休止するサービス

拡張記憶 (ES) 使用ジョブクラス	A-ES~F-ES
並列ジョブクラス	P008~P032
専用キュー	

前述のシステム切替作業中は、SR8000/MPP (mpp-s) から SR11000/J1 のバッチシステムへのジョブ投入はできませんが、既にバッチキューに投入されているジョブは通常どおり実行されます。その際、バッチジョブでのデータの読み書きは /batch 又は /short/batch で行って下さい。

### 3.3 /short/mpp-s、mpp-p の統合によるファイル削除について

来年度よりインタラクティブシステム mpp-p は mpp-s に統合されます。それに伴い、それぞれに接続されているディスクも統合作業を行い、新たに短期保存ファイル /short/mpp-s を作成致します。そのため、今年度までの /short/mpp-s と /short/mpp-p に保存されているファイルは年度末に全て削除されますので御注意下さい。また、必要なファイルについてはバックアップをとっておかれましてようお願い致します。